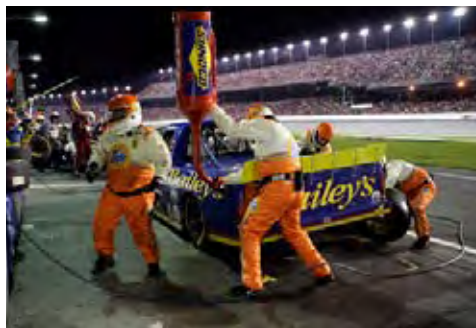


NASCARの
オフィシャルガソリンを
提供するオイルメーカー。

SUNOCO

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I
- J
- K
- L
- M
- N
- O
- P
- Q
- R
- S
- T
- U
- V
- W
- X
- Y
- Z

→90Sから再びレースに参戦したスノコ。現在のNASCARでは、オフィシャルガソリンのサプライヤーとしての活動も行う。



←ガソリンのオクタン価を自由に選択できたカスタムブレンド方式で人気を博したスノコ。1950年代のことである。



↓3種のエステルを組み合わせた100%化学合成油で、せん断安定性ゼロを実現したオブレントシリーズ。4,800円/1L



↑従来製品よりも耐熱、耐摩耗性を向上させたことにより、確実にエンジンを保護するスヴェルトシリーズ。5,400円/4L



↓特殊エステルを独自技術でブレンドさせたレーススペックのブリルシリーズ。混ぜ合わせて粘度セッティングも可能。9,600円/1L



↑エステルを配合することで耐熱性、せん断安定性を向上させたエアリーシリーズは、一般車向けの部分合成油だ。3,980円/4L

1889年にオハイオで発見された油田をもとに、1890年に設立されたサン・オイル・カンパニーをルーツに持つスノコ。56年にガソリンのオクタン価を自由に選択できる「カスタムブレンド方式」を展開し、その画期的な販売方法が功を奏しアメリカで大ヒットを記録したオイルメーカーである。また67年には世界で初めてオイルサンド（原油を大量に含んだ砂）から原油を抽出することに成功。これがきっかけでオイルメーカーのトップブランドの仲間入りを果たすことになった。

レースシーンでの活躍もスノコの業績を語る上で欠かせない。67年にデビューしたスノコのチームは、68年、69年と立て続けにシリーズタイトルを獲得。70年代に入ってもインディーカーシリーズをはじめとする名だたるレースに参戦し、結果を残した。一時期レース界から身を引いていたスノコだが、90年代には再びレース業界に参戦。2004年度にはチームとして参加するだけでなく、NASCARオフィシャルガソリンサプライヤーとして全車にガソリンを供給している。その実績をフィードバックしたスノコの高性能オイルは、日本でも評価が高く、自動車を単なる移動手段としてではなく、趣味として楽しむ人たちに人気。ディーラーまかせではない、自ら愛車を整備する自動車好きたちに広く愛用されている。



↑日本でもFormula Nippon、SUPER GTをはじめ様々なカテゴリーをサポートしている。写真は本場アメリカ、AMAダートトラックレースに参戦する衛藤金治選手